

総合型選抜と学科紹介プログラム



総合型選抜とは、どんな特徴があるの？

総合型選抜の特徴は、**学力の3要素「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」**を多面的・総合的に評価して、合否を判定することです。本学科での勉学に強い意欲を持ち、将来の夢や希望など、目的を持った前向きで意欲的な方、自分自身で問題を見つけ、解決できる力を持った主体性のある方の受験をお待ちしています。

総合型選抜を受験される方は、出願する前に必ず**エントリー**（日本大学理工学部総合型選抜Webサイトにアクセスし手続き）を行ってください。**出願**については、エントリー後、学科への理解を深めてから、決めることができます。

試験は、事前課題のプレゼンテーション（質疑応答を含む）、面接を行います。また、**選考**は**アドミッション・ポリシー**（入学者受入方針）に基づいて行い、時間をかけてさまざまな角度から評価をします。

交通システム工学科のアドミッション・ポリシーとは？

交通システム工学科は、交通工学のパイオニアとして、快適で心豊かな社会の創出に貢献できる交通技術者の育成を目指しています。そのため、国内外の交通システムに関わる諸問題や先進技術に興味があり、交通空間や交通施設の計画・設計・建設から運用・管理に至るまでの、より専門的で幅広い交通問題の解決に情熱を持って積極的・意欲的かつ継続的に取り組める論理的思考力、コミュニケーション力を持った人を求めています。

試験では何が評価されるの？

「交通システム工学科のアドミッション・ポリシーに適合しているか」に基づき、プレゼンテーションと面接から構成される試験と大学入学希望理由書、活動報告書、学修計画書、調査書（全体の学修成績の状況）、事前課題報告書によって学力の3要素を評価します。

過去の課題

試験日前：試験の課題テーマに関して、A4版用紙4枚以内で報告書を作成して提出

試験日：「面接」

口頭による2分間の自己PRと8分程度の質疑応答

試験日：「プレゼンテーション（課題発表）」

課題テーマについて、予め作成したパワーポイントファイルを用いて発表を行う。

（発表時間：7分、質疑応答：8分程度）

課題テーマ：身近な交通問題の抽出と解決策など

試験当日までの手順（出願から事前課題まで）

●出願後、10月上旬に課題を郵送します。必要書類の授受は郵便とします。

・学科

①課題テーマの提示と提出期限の指定、②課題作成要領など

・受験生

事前課題報告書の提出

※アドミッション・ポリシーの全文、出願要件等の詳細は理工学部HP・入試情報をご確認ください。

2021

※全て予約制です。理工学部HPより事前に予約してください。状況により変更の可能性があります。

7月

7/11(日) 10:00~16:00

駿河台入試フォーラム

学科概要についての全体説明や個別相談を教員が対応します。



学科説明

8月

8/1(日) 10:00~16:00

バーチャルオープンキャンパス

8/7(土) 10:00~16:00

船橋オープンキャンパス

学科ブースにて、たくさんの交通に関わる内容が展示され、体験することができます。



個別相談にも親身に対応



交通に関わる様々な展示

9月

10月

10/31(日) 10:00~16:00

船橋キャンパスウォッチング

11月

学科公式オンラインコンテンツ

学科紹介・模擬講義など、いつでもご覧いただけます。

学科HP



Youtubeチャンネル



Twitter



2022



TSE

日本大学理工学部 交通システム工学科 (船橋校舎)

<http://www.trpt.cst.nihon-u.ac.jp>

ご質問・資料請求等は、下記へご連絡ください
〒274-8501 千葉県船橋市習志野台7-24-1
日本大学理工学部 交通システム工学科 事務室
TEL.047-469-5239 FAX.047-469-2581

先輩たちは



どんなプレゼンをしたの?

受験生Aさんからのメッセージ



1 志望理由

近年、問題視されている地球温暖化について注目し、二酸化炭素を多く排出している自動車に関してなにか貢献できないかと考えました。本学科ではインターネットを活用した交通インフラ整備等で二酸化炭素削減について学ぶことができるので志望しました。



2 課題内容に対して準備・工夫したポイント

総合型選抜の課題内容は「身近な交通問題の抽出と解決策など」というテーマのプレゼンテーションでした。そのため、私は高校の通学路であった東金御成街道についてまとめることにしました。まず交通量の多い地点を絞り込み、調査する時間を決め、その地点を通る車の台数を車種ごとに数え、表にまとめました。次にその表からわかる問題点などをまとめて、最後にその問題の対処法を提案しました。



3 受験生へのメッセージ

高校生まででパワーポイントを使用したプレゼンテーションを行ったことがある人はなかなかいないと思います。私もそうだったので、作成方法などを調べて作りあげました。その中で、表やグラフなど目で見てすぐにわかる情報があることが大切だと思いました。特に対処法を提案するときにイラストを使うとわかりやすくなっておすすめですよ。新型コロナウイルスで大変な時期ですが応援しています。

受験生Bさんからのメッセージ



1 志望理由

幼いころから鉄道が好きで、いつかは鉄道にかかわる仕事がしたいと考えていたのと、車両の運転などではなく都市に必要な新しい鉄道路線をデザインし、創り上げることで鉄道に関わりたいという夢を叶えるため、日本で唯一交通工学を専門的に学ぶ、JABBE認定学科であるこの交通システム工学科を志望しました。本学のパンフレットなどを読んでいく中で、実習など、普通の授業では味わえない実践的な内容の授業が多いことを知り、夢を叶えられるのはここしかないと感じ本学科で学びたいと思いました。



2 課題内容に対して準備・工夫したポイント

私は出題された課題テーマに対して、「地下鉄日比谷線・東武スカイツリーラインにおける夕方ラッシュ帯での遅延実態と改善に向けた提案」というタイトルで発表を行いました。文章を作成する課題は作成後に友人や高校の先生に見てもらい、改善点を洗い出して修正することを繰り返しました。特に試験で実際に発表するプレゼンや面接試験などは、高校の先生などに頼んで数週間前から何度も見てもらいました。高校でも同じく交通システム工学科の総合型選抜を受験した先輩の受験レポートがあったので、それも確認してできる限り本番に近い形で緊張感をもって練習しました。



3 受験生へのメッセージ

交通工学に興味を持っているという方、将来、交通に関係する仕事をしたいという方はぜひ受験してみてください。もしもそのような分野に興味があってもほかの大学を考えていないならば、この交通システム工学科を強くお勧めします。ここには先輩方も同級生も車好きや鉄道好きなど、自分と同じ興味を持つ仲間も必ずいますし、本学科で新たな興味が見つかるかもしれません。興味を同じくする人と語り合うのも楽しいでしょう。交通システム工学科は交通分野を学ぶ最適な場所です。分野に特化した先生方や優しい先輩方が皆さんの入学をお待ちしています。



入試担当の先生に聞いてみました

総合型選抜とはどんな入試ですか?

総合型選抜では、試験日に行われる面接やプレゼンテーションに加えて、大学入学希望理由書などの試験以外の評価項目も含めて、学力の3要素*の観点から総合的に評価します。

*「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」

「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」とは?

この学ぶ態度とは、今後、本学科でどのように学びを行っていききたいかという意欲のことであり、その評価では大学入学後の適性・将来性を重視することになります。これには、あなた自身が主体的にどのように取り組んでいきたいかという点と多様な人々と協働して学ぶために自身が心がけていきたい点の両方、もしくはいずれかを含んでいます。

どんな受験生にむいていますか?

- 志望学科で学ぶ意欲が強く、主体的に学業に取り組める。
- 入学後の目標やビジョンを具体的に描ける。
- 論理的思考力、コミュニケーション力、チームワーク力がある。
- 入学後に専門分野を学ぶ基礎学力を身につけている。